

◆分散型TEKU-TEKUその5★池袋の4つの公園（活動記録）◆

企 画■公園がまちを変える！（池袋の4つの公園と IKEBUS）

日 時■企画説明 2021年4月17日（土）20:00～22:00（オンラインにて開催）

歩く期間 2021年4月18日（日）～10月31日（日）（この間に各自で歩く）

標準コース■特に設けず、評価対象の4つの公園を IKEBUS も使って巡る。

評価対象■①南池袋公園、②中池袋公園+Hareza、③池袋西口公園、④みどりの防災公園(IKE-SUNPARK)+キッズパーク、⑤IKEBUS(イケバス)

評価提出■井手幸人、大竹 亮、栗原 徹、西田 敬、原 久子、藤井正男、藤井幹也、古里 実（以上、8名）

コーディネーター■呉祐一郎

企画主旨■東京23区で唯一「消滅可能性都市」に挙げられた豊島区では、その後、女性や文化等をテーマにした様々なまちづくりを進め、今では子育て世帯の住みたいまちに選ばれるようになりました。また、池袋駅周辺では「公園がまちを変える」政策を掲げ、新しいスタイルの4つの公園の出現をはじめ道路、区の土地などを活用して、広くまちを回遊して楽しめることを目標に、以前のちょっと怖いまちのイメージを大きく変えています。気持ちよく過ごせるオープンスペースを実体験しながら、行政が主導して民間を巻き込んで進める池袋の再生の取り組みを見てください。

1◆南池袋公園（みどりのアウトドアリビング、2016）

評価:5.00 内訳:AAAAA

評価A●カフェ以外に特別なものがあるわけではないが、なぜか居心地が良い。養生中で芝生に入れなかったが、イスやテーブルを周りに並べて芝生を眺めるようにするなど、オペレーションが良いのが人気の秘密かもしれない。

評価A●市街地の中の公園として、あまり樹木を植えず、オープンで明るく、気ままに使いこなせる広場的な公園であり、心地の良い場所となっている。

評価A●飲食施設と芝生広場の配置、バランスが良く、使い勝手の良い公園になっていて多くの人が集っていた。当日は日曜日で家族連れが多かったが、平日も会社員のランチなどに活用されていると推定でき、公園設置の狙い通りの使われ方であった。

評価A●レストランも大人たちが賑わい、広場は子どもたちが自由に走り回り、都心の中に緑のエリアとして有効に利用されていた（トイレの絵本の小窓が楽しい）。芝生中心のためイベントなど多様な目的に利用でき、樹木がないため維持コストもかからず良いと思う

評価A●夕方であったが、新型コロナの規制解除直後であったにもかかわらず、人であふれていた。カフェもあり憩いの仕掛けもされている。

評価A●秋晴れの午後、芝生にも階段広場にもカフェにも、大勢の人があふれていた。カフェテラスの2階席も、芝生広場に沿った屋外席も居心地がいい。奥の幼児遊園的なコーナーも大人気だった。こんなにも大勢の人に公園を利用されていて、びっくりした。

評価A●とにかく広場の芝のクオリティが高い。夏芝と冬芝をハイブリッドで養生管理していることを初めて知った。芝生を衛生的に保つためのペットの利用や芝生をいためないための乳母車などの利用ルールが市民参加でつくられ、居心地の良さが感じられる。カフェ2階から芝生広場の眺望も良い。絵本の巣箱も可愛らしい。

評価A●デッキ上の休憩スペースは木陰で気持ち良さそう。今回の広場・公園の中では一番ゆっくりしたい場所でした。緑のアウトドアリビング、領けます。



南池袋公園／多くの人でにぎわう階段広場



南池袋公園／芝生広場に面するカフェテラス

2◆中池袋公園（Hareza池袋等の建物に囲まれた空間、2019）

評価:3.00 内訳●BBBBBBBB

評価B●東口一帯の建物に囲まれた舗装広場。繁華街の中で広々とした空間は心地よいが、もう少し滞在できるスペースが多いといいと思う。3棟が統一されたデザインのHarezaに面して景観上は整っているが、機能的にはアニメイト本店にも面してカフェもあることから、女性アニメファンのメッカになっているようだ。

評価B●Hareza池袋は建物内部が外から見え、道路に面した店舗にはテラスなども出ているので良い雰囲気だが、公園部分はあまり面白くない。

評価B●ハレザ池袋のパークプラザが中池袋公園と一体的な空間として活用できるように計画されており、舞台空間のような位置で、どのような使い方になるのか期待を持った。しかし日常使用としては中途半端で、公園のエッジ部分にもう少しベンチやカフェがあっても良いのではと思った。

評価B●アニメ、コスプレの人々が集まる広場？ 行った時間帯はその手の人たちが集っていたが普段は？ 通常の広場としてはコンクリートで囲われた感じが残り、憩えるスペースではなかった。

評価B●この地にあった区役所を移転し資金を調達したのは、良い施策と思う。それぞれの建物が回廊でつながり一体感があるが、建物に囲まれてしまった圧迫感があり、もう少し解放感が感じられるとよいと思う。

評価B●面積は大きくないところではあるが、周りが建物なので、多少は芝生を入れ込んだ空間になっていると都市緑化を表現できたと感じた。

評価B●映画館、劇場、区民センター等が繋がりファサードデザインも統一された Hareza 池袋と公園との関係は良いと思う。一方、公園は座れる場所も少なく、建物側でのイベントがある時のための広場という感じである。区民センターのパパママスポットはとても良い空間だと思う。

評価B●3 棟と広場は引いて見るととても絵になりますが、この広場は他の3箇所と比べると、滞在する人が一番少ないような気がしました。



中池袋公園／Hareza3棟に面する歩行者広場



中池袋公園／ファンに話題のアニメイトカフェ

3◆池袋西口公園（野外劇場公園グローバルリング等、2019）

評価:4.00 内訳●AAAABBBB

評価A●公園というよりも西口駅前の歩行者広場。東京芸術劇場の前庭アプローチも兼ね、野外劇場やオープンカフェが出来て大きく進化した。円弧のベンチに座ってイベントを見る人々、通りがかってカフェで憩う人々、コンサートの帰りに滞留する人々など、多くの人にそれぞれのシーンで利用される都会派の広場公園。

評価A●駅前にあるので、様々なイベント等での活用が意図されているのであろう。カフェやエッジのベンチなど、イベント空間の機能と日常利用の両立が計画されている。

評価A●芸術劇場、バスターミナル、池袋駅間のそれほど大きくない空間を印象付けるのにリングをかぶせるデザインは、場所を印象付けるのには良い。なおリングのデザインで空間を印象付ける手法は、日本でも新宿アイランド前の交差点など、良く見られる。

評価A●真ん中の霧の出る空間で遊ぶ子供を見て、ホッコリしました。ブライトゾーンがなくなり、とても明るく開放的な空間になったように感じました。

評価B●東京芸術劇場に隣接しており、ステージやスクリーンがあるなどイベントをイメージした空間。暑かったので中央の噴水で子供が遊んでいたのが楽しそうだった。

評価B●コンサート等に使われる広場とのこと。実際に使われているところを見たかったが、行った時には何もやっていなかったのが様子判らず。ライトアップの様子も見えなかったのも残念。

評価B●何もなかった広場（イベント時だけ、どちらかというと通路的）は、カフェが併設されたこともあり、駅前広場＝居場所として意識されるようになった。

評価B●イベントを行う際の設えとスケール感が良いと思う。イベントがない時の使われ方が課題と感じた。カフェ席がもう少し増えてオープンな感じになると良いのではと思う。



池袋西口公園／野外劇場(左)と東京芸術劇場(右)



池袋西口公園／一角にあるグローバルリングカフェ

4◆みどりの防災公園 (IKE-SUNPARK)+キッズパーク (2019) 評価:4.50 内訳●AAAAAABB

評価A●広々とした十分なスペースがあり、家族連れで賑わっていた。サンシャインの東側で、駅からはかなり離れているため、IKEBUS が活躍していた。飲食提供施設が混雑して順番待ちの状態。容量不足でした。

評価A●広大な芝生広場が心地よい。カフェやキッチンカーとの関係も良い。大学の活性化活動との連携が楽しみ。

評価A●移動車の飲食店のデザインもよく、楽しい空間としての雰囲気を作り出している。

評価A●池袋駅から少し歩くが、夕方であったが新型コロナの規制解除直後であったにもかかわらず、人であふれていた。防災公園にカフェ、芝生広場、モニュメントと公園の格を上げる仕掛けも多い。

評価A●とても広々とした公園が、多くの家族連れで賑わっていた。カフェや移動屋台も楽しいし、イケバスと同じ水戸岡鋭治デザインのキッズパークがとても楽しそう。イケバスの乗り入れも行き届いて便利。

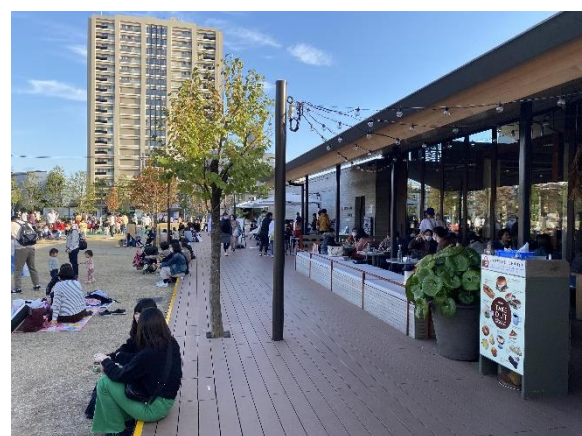
評価A●広々として気持ちのいい公園です。遊び盛りの子供は、キッズパークではしゃいでいました。隣接する東京国際大学が完成すると公園と大学どんな感じになるのでしょうか？

評価B●広々とした公園であり、カフェや屋台も出ていて居心地の良い空間になってはいるが、都心でこれだけ大規模な公園なので、もっと新しい試みにチャレンジして欲しかった。

評価B●広々とした芝生公園は良い。天気が良すぎて木陰が少ないことに気づく。防災公園は平常時の継続的な利用が重要だと思う。芝生を美しく管理しながら上手に使えるかがポイントであり、南池袋公園のように芝生をいためないための乳母車などの利用ルールが案内されていた。キッズパークも子供たちが楽しそうに利用していた。期間限定の仮設の児童公園と思えないデザインの質の高さを感じた。障がい者と健常者がこどもの頃から、ともに遊び学ぶことを体験できるコンセプトは素晴らしい。キッズパークの持続可能性が課題か。



IKE-SUNPARK／親子連れが楽しむ防災公園



IKE-SUNPARK／カフェテラスとウッドデッキ

5◆IKEBUS (イケバス、2019)

評価:4.75 内訳●AAAAAAB

評価A●真っ赤な車体が街に映える。内部のデザインもユニークで、効率よりも移動の楽しさを重視している。

評価A●赤いバス自体が移動するオブジェとして地域を楽しくする。高速道路下の無機質な景色も明るくしていた。

評価A●電気自動車として定時走行していることは、モビリティとしても環境面でもアピールできる。大きさもスピードもヒューマンで気軽に楽しく乗れた。

評価A●秀逸な水戸岡デザインと小回りの利くコース設定で、子供連れに人気のようだった(平日は高齢者にも?)。こうしたスローモビリティは、道路の代わりと考えれば、公共サービスの一環である。とにかく目立つので、池袋の街の動くランドマークにもなっている。10月からの暫定値下げはありがたい。

評価A●都市の中を走るモビリティは、特徴を持っていた方が良いように思える。

評価A●2系統をそれぞれ20分おきに走っていて、交通機関として十分に機能。遠くに離れてしまった新しい区役所へのアクセスが主目的だろうが、各所の公園も回ることによってプラスアルファの魅力を付加していた。ただし電気自動車でかつ多輪車なので運行コストが high と思われる、継続性については懸念材料あり。

評価A●池袋を回遊するのに便利。日曜日だったからか、イケ・サンパークからベビーカー利用の方が多く乗られるので、次の停留所、次の次の停留所でも乗れなく、駅まで歩きました。一日周遊券が500円から250円（2021/10/1 から）になったのも頷ける。

評価B●昼間のみ20分間隔の運行で、公園利用者全体から見てそれほど利用が多いとは思えないが、キャパシティとしては適切なのだろう。単体で採算を取るものではなく、移動の選択肢を用意することに意義があるとすれば、良い取り組み。



IKEBUS／小回りが利いて公園の中まで運行



IKEBUS／子供連れに好評でバス停に行列も

6◆池袋の4つの公園とイケバスは、まちにどのような効果をもたらしているか？

- 商業・業務機能が集積する池袋は、これまではお金をかけずにゆっくりできる居心地の良い場所があまりなかった。4つの公園はのんびりと寛げる快適な場を提供するという点で、池袋の街の魅力を高めていると思う。
- 池袋駅周辺に勤務・居住する人にとっては、多様な憩いやイベントの空間が街中に埋め込まれ、かつ移動手段が提供されたことで都市を楽しむ選択肢が増え、時間を使う場所としての印象が、各段に良くなっていると思う。
- 東側の3か所の公園は特に、池袋の回遊ルートの範囲を印象付けるのに良い位置になっている。池袋駅周辺の居住者にとっては、公園で過ごすことが訪問目的になり生活の一部になっているのではないかと感じる。
- 四つの公園が魅力アップし、それをイケバスがつなぐことで、家族連れやカップルの周遊コースになりつつあるのでは。池袋のまちの徒歩圏が広がっていると感じた。
- イケバスは通常のバスのサイズではなく、軽便な感じで4つの公園を意識させる、歩いても、乗ってもよしの地域を作り出している。4つの公園の「歩いてもよし」のコースとして整備されるとなおよい。
- 池袋は、新宿や渋谷と違って、これといった特色やここにしかない魅力が少ないどちらかというと地味な街だったが、4つの公園が成功したことで、ゆったりと心地よい時間を過ごせるスペースが各所に散りばめられた魅力的な街になった。4つの公園は、緑の屋外カフェ、アニメの聖地、芸術のメッカ、広々した原っぱなど、それぞれ特色があり、街や隣接建物との関連をもって存在している。イケバスは、それらを楽しくつないでいる。
- 人が街を回遊するのに貢献している。

7◆池袋は、将来どのような街になっていくといいか？ そのためにはどのようなまちづくりをしたらいいか？

- 池袋独自の個性や文化を発信する街になるといいと思う。池袋には東武や西武はあるが、必ずしも街全体を牽引しているとは言えないので、池袋の街の文化を育て、情報を発信する組織ができるとよいのではないかな。
- 演劇やアニメ、映像文化など、サブカル的な要素も含めつつ、特定の分野や種類を限定しない、ボーダーレスな文化を発信している街。
- イケバスは是非、継続して育て、歩いて楽しめるまちを広げてほしい。まちの公園、歩道、広場などの公共空間や私有地の活用など、コモン空間に自主的にかかわる市民や企業を育てるプラットフォームづくりが重要だと思う。そのことで居心地の良い空間の質も高まる。
- 今までの西武や東武のターミナル駅前周辺商業施設から、雑司ヶ谷や目白という文教地区にも広域につながりができること。今回の対象は若者を意識したものが多かったが、池袋沿線の板橋や十条、南長崎（昔農村）など暮らしや地元感のあるヒューマンなエリアと分断されることなく開発されていくとよい（渋谷のような開発でなく）。西口の立教大学に続く道をプロムナードとして、街に開かれた大学として連携されると、池袋にも深みが出る。

- 高校の頃は、近くの池袋のデパートまで、普段着にサンダル履きで行ったものです。居心地よく、気取らずに、誰をもやさしく迎えてくれる生活者主体の街であり続けて欲しいです。
- どんどんキレイになった池袋。若い頃は池袋近くでの会合の帰りは安くてうまい居酒屋（清龍など）を活用していました。池袋らしいちょっと猥雑な空間も残しておいてもらいたい。

8◆公園が上手く活用されている他の地区の事例など

上野恩賜公園★動物園、美術館、博物館など様々な施設が立地。
 西ヶ原防災公園★密集の中の貴重な公園。保育園の園庭等、周辺の憩いの場所。
 新宿中央公園★「シルクノバ」ができて、イメージが一変した。
 三鷹中央防災公園★防災公園の地下がスポーツ施設。
 海老名中央公園★ショッピングセンターの中に公園がある。
 山下公園★公園と市街地のガイドラインによる一体空間。
 志木市いろは親水公園★パーク PFI 事業が始まっている。事業者とボランティアや市民との連携に期待したい。
 荒川自然公園★東京都下水道局三河島水再生センター上に設置された人工地盤上の公園（都内で2番目）「新東京百景」に選定された公園で、散歩にはうってつけ。荒川区民の憩いの場所。
 香椎浜中央公園★大規模 SC の前に一体的に整備され、デザインも優れて多くの人が利用していたが……。

9■今回の企画全般についての感想など

- 今回は大塚駅北口広場からスタートして東池袋の密集市街地を彷徨い、URの新築賃貸住宅「コンフォール東池袋」（工事中）を見て、その後、みどりの防災公園からの4つの公園を訪ねるというルートをたどりました。大塚駅北口広場は、駅前広場だけでなく、いくつかの小さな広場などがモニュメントやデザインを介して有機的につながり、なかなか面白い空間でした。また、コンフォール東池袋は外観しか見られませんでした。密集市街地内のURらしくないデザインは一見の価値ありです。（K/T）
- 高密度市街地の中に、明快なコンセプトを持つ公共空間をインフィルすることの可能性を確認させてくれる企画でした。こうしたまちづくりの方法は、どこでも適用できる手法だと思いました。企画ありがとうございました。（F/Ma）
- 今回回った公園施設はどこも明るいイメージを持っていて、全体的にかつての池袋の街の暗いイメージを払拭する事が十分出来たと考えます。（F/Mi）
- 公園がテーマとして取り上げられたことは興味深かった。公園や図書館などもっと柔軟かつ積極的に利用されるとよいと思っていたため。敷地があれば箱物という考えではなく、都市の中に広場をつくるという考えはとても良いと思う。（H/H）
- 周遊定時走行のイケバスと4つの公園をめぐる企画は、ひとりTEKU-TEKUとしては歩きやすくマッチした企画だと感じました。公民連携による公園の管理運営にさらに市民が参加し、豊かな日常が持続していければ良いなと思いました。（H/M）
- 広場・公園をネットワークし、人の回遊性をまちにつくり、まちを活性化させる。歩いてよくわかりました。（I/Y）
- 私にとって池袋は高校時代から最も身近な繁華街ですが、飾り気のない地味で普通っぽい街だったのが、すごくステキな街に変わりつつあるようで、驚きつつ楽しみです。三年前、昨年、そして今年と歩いて、公園がどんどん多くの人で賑わっていく様子を目の当たりにして、これからの時間重視、生活重視の時代にマッチした街になるのではと、期待しています。（O/R）

■コーディネーターより

豊島区は、近年、区の施設やその土地をうまく活用して、周囲の事業者とも協力しながら、池袋や豊島区のまちの環境を向上させ、イメージを変えることに力を入れてきました。方法としても外部空間が楽しいことがまちにとって大切だとこだわった取り組みが特徴です。

また先日は、西口公園で開催されたコシノジュンコプロデュースのオペラ+オーケストラ+バレエ+歌のライブイベントを観てきましたが、他にも水戸岡鋭治、隈研吾、野村萬、里中満智子各氏をはじめ多くの文化人に応援してもらえ、まちになって、アニメや漫画を含め面白さの幅や深みも増しているように感じられます。

今後は、4つの公園をはじめ、より一層楽しく安全に歩いて過ごせるまちになるよう、4つの公園同士や周囲のまちとの連携や、今、区が最も力を入れている消滅可能性都市のアンチテーゼとしてのSDGsのまちづくりが、多くの人達に実感、効果が上がるようにしていくことが、まちづくりとしての課題だと思います。

今回は多くの方に高い評価をいただいたのではないかと思います。すみません、南池袋公園の芝生が養生期間に訪れていたいただいた方も、今後も継続して池袋やその周辺を見てご意見をいただければ幸いです。ご参加、ご協力ありがとうございました。（呉）



IKE-SUNPARK／一角に並ぶ移動式飲食店舗



南池袋公園／大勢の親子連れが集まる遊び場



キッズパーク／水戸岡デザインで親子に大人気



ウイロード／アーティストの壁画で明るい地下道